

○今年、1923年9月1日に発生した関東大震災から100年を迎える節目の年であり、関東大震災ゆかりの地をめぐり、切迫する首都直下地震等の巨大地震へのさらなる備えについて、考えるためのツアーを7月22日～23日に実施。

○ご案内いただいた武村特任教授（名古屋大学）により、関東大震災で多くの命が失われた原因と理由、震災後の帝都復興計画により造られた東京のインフラの整備状況（広い道路や、橋梁）、現在の東京が首都直下地震に対して脆弱となっている課題について参加者に説明。切迫する首都直下地震に対し、参加者自らがどう備えるか、考えて欲しいことを強く訴えた。

ツアーガイド



1981年東北大学大学院理学研究博士課程修了(理学博士)後、鹿島建設(株)プリンシパルリサーチャーなどを経て名古屋大学減災連携研究センター教授(現在特任)。著書に「関東大震災がつくった東京:首都直下地震にどう備えるか」(中公選書、2023)など多数。

【ゆかりの地】

○令和5年7月22日(土)Aコース 参加者 24名(7～75歳)
23日(日)Bコース 参加者 25名(8～69歳)

- ・都立横網町公園 …3万8千人が亡くなった最大の被災地(陸軍被服廠跡地)であり、慰霊碑や、復興記念館が設置
- ・隅田川橋梁群 …震災復興により造られた歴史的な橋梁
- ・浅草寺 …関東大震災では、奇跡的に焼け残った(その後1945年3月の東京大空襲で焼失)。特に、イチョウは震災当時に、龍吐水のように水を吹いたとされている。
- ・神田明神 …震災による復興により日本初の鉄骨鉄筋コンクリートで造られた社殿
- ・都立上野恩賜公園…震災後の最も多くの避難者を受け入れた避難場所。震災で頭部だけが残った大仏や、後の昭和天皇が被災地視察のために訪れた碑など数多くの遺構が残されている。
- ・東京大学地震研究所…震災を契機に地震研究を発展させるために設置された研究所



01_都立横網町公園



02_隅田川の橋梁群 (あらかわ号による見学)



03_浅草寺



04_神田明神 (Aのみ)



04_都立上野恩賜公園 (Bのみ)



05_東京大学地震研究所



【参加者の声】

・発生が想定される首都直下地震はどのような地震なのか、被害の想定はどういったものなのかなど、首都直下地震に関する質問が寄せられ、首都直下地震への関心が伺えた。

アンケート結果

